

■臨床症状と感染経路

典型的なインフルエンザは、急激な経過で高熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感などの全身症状があらわれ、これらの症状と同時に、またはやや遅れて、鼻汁、咽頭痛、咳などの呼吸器症状が出現する。発熱は2～3日ほど続き、その後次第に症状は軽快し、1週間程度で治癒する。しかし、軽度の症状で終息するインフルエンザウイルス感染や不顕性感染もあり得る。潜伏期は通常1～3日である

感染経路は、ほとんどは飛沫感染による。患者のくしゃみや咳によって、ウイルスを含む飛沫が呼吸器に侵入して感染がおこる。直接接触感染やよく触れる部位などの環境を介した間接触染も考えられている。さらに、狭い閉鎖空間では、こまかい飛沫核が浮遊することによる空気感染も起こり得る。乾燥した部屋では感染力が強まる。